

台風被害に遭わないために 万全の対策を!!

沖縄県の自然災害で最も大きいのは台風による災害です。台風による主な災害には風害、水害、高潮害、波浪害などがあります。

台風は、沖縄地方に近づくと頃、最も勢力が強くなったり、移動する速さが遅くなったりするため、沖縄地方では長時間、台風の影響を受ける場合があります。台風災害の防止・軽減には普段からの備えが大切です。テレビやラジオで沖縄気象台が発表する注意報・警報・気象情報を利用すると共に、早めの対策を心掛きましょう。

台風災害に備える

台風がくる前に

- ベランダや庭に置かれている飛び散りやすい物は、早めに片付ける。
- 懐中電灯や携帯ラジオ、飲料水などを準備し、停電や断水に備える。
- トタンや水道タンクなど暴風にあおられて飛散した場合、周辺に危険を及ぼす可能性がある物は、土嚢^{どづ}を置いたり、ロープなどで固定し補強する。

- 避難に備え、食料品や飲料水、毛布や着替えなどの生活必需品、常備薬などをまとめておきましょう。また、これらの避難用品が雨に濡れないよう、防水性のカバンやビニールを準備しましょう。

台風が近づいたら

- 外出を控える。
- 危険な場所（海岸や河川など）に近づかない。

- 台風の動きに応じて注意報や警報などが発表されるので、最も新しい情報を利用する。

沖縄電力からお願い

- はがれそうなトタンやテント、看板は堅固に固定しましょう！電柱や電線にかかって、断線や電柱の倒壊等、停電の原因になります。
- アンテナや樹木（庭木）が強風で倒れたり、折れたりして電線に触れると危険です。アンテナは堅固に固定し、樹木（庭木）の枝などは、適当な高さに剪定しましょう。

避難について

家屋の老朽化などにより、事前に自主避難を希望する方は、市役所総務課防災係（973-0606）に連絡しましょう。

また、暴風の最中、家屋が損壊し身に危険が迫り、自力では避難が困難となった場合は、市消防（119番）又は、市役所総務課防災係に通報しましょう。